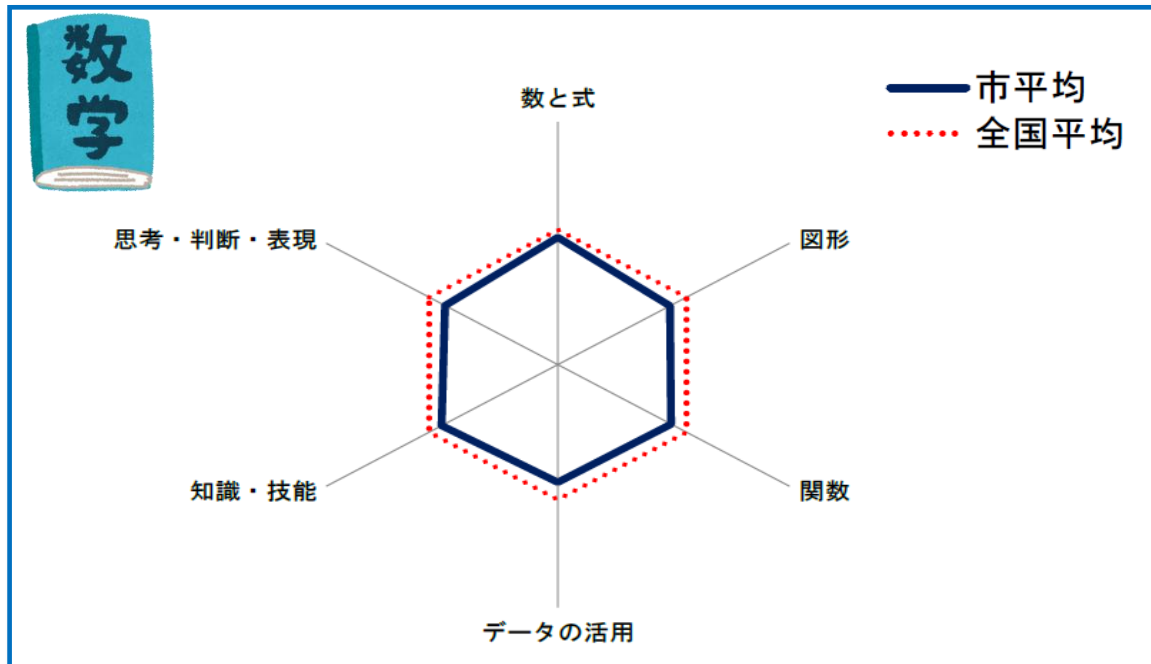




新居浜の中学生は、全体として「全国平均よりやや低い」調査結果でした。



よくできていた
数学問題

「正の数と負の数を用いて変化や状況を表す」問題の正答率が、全国平均と比べ、よくできていました。

「箱ひげ図と四分位数の対応について解答する」問題がよくできていました。

結果を受けてこれから
取り組んでいきたいこと

「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明する」問題に課題が見られました。表やグラフを活用してデータの分布や特徴を多面的に捉える学習を進めるとともに、比較や分析の根拠を明確にして説明する活動を充実させ、統計的な見方・考え方を働かせながら判断する力の育成が重要です。

「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する」問題に課題が見られました。数量や変化の関係を数式やグラフで表現する学習を進めるとともに、それらが表している意味を日常生活や具体的な事象と関連付けて考察する活動を充実させることが大切です。また、問題解決の過程を振り返りながら、数学的な見方・考え方を活用してよりよい解決方法を考える学習を推進し、数学を活用して課題を解決する力の向上を図ることが必要です。

